

生活科学科生活デザイン専攻 令和7年度学校推薦型選抜・社会人選抜

【出題意図】

この問題は、特にファッションやアパレルにおいて使用されるキーワードを題材に課題文を与えている。

課題文では、「エシカル」や「サステイナブル」というキーワードをもとに述べられており、この内容を踏まえて、自らの経験や身近な事例に思いを巡らせ、日常生活を見つめなおしエシカルやサステイナブルに対する考えを論述することを求めている。

解答は課題文で示される5つの項目のうち、いずれかに対する内容となっている必要がある。課題文ではファッションやアパレルについて述べられているが、解答の内容はファッションやアパレルに限らなくても良い。

問では「理解力」「思考力」「論理性」「表現力」を評価する。課題文の説明を理解した上で、自分自身の日常に視点を向け、その中から自分の考えを説明する論拠を明示し、正確な表現で説明を展開することを求める。

【採点基準】

以下を採点の基準とする。

- ・ 課題文の内容を理解しているか
- ・ 日常生活や身の回りに関心をもって事例があげられているか
- ・ その事例をもって自分自身の考えを導き出せているか
- ・ 自分の考えを述べるための論拠は適切か
- ・ 5つの項目に即して解答しているか

(以下は一般的な項目)

- ・ 正しく分かりやすい日本語で書かれているか
- ・ 適切な語彙を用いて正しい文章表現ができているか
- ・ 原稿用紙の使い方や表記に誤りがないか

解答例

製品を購入する際、その製品の生産過程に環境破壊や動物虐待などの倫理性に問題がないか注意することは重要だ。ここでは1動物の権利、2環境問題、5持続可能性の項目に着目して、「天然皮革と合成皮革」を事例に挙げてエシカルやサステイナブルについて考えを述べる。

私は登下校の際合成皮革の靴を使っている。高校入学から3年間使用しているため所々傷んでいるが卒業まで使う予定だ。同級生の友人は母親から譲られた牛革の靴を使っている。その靴は購入してから10年近く経過しているが、手入れや修理をして使っているそうだ。私は、卒業後は靴を買い換える予定だが、友人は「牛革は丈夫で使うほど味わいが出るため、卒業後も長く使う」と言う。

以前、天然皮革と合成皮革に関する新聞記事を読んだ。要約すると、石油化学技術が発達するまでは革製品の材料は動物の皮革しかなかった。しかし天然皮革は作るのに時間と手間がかかり、価格も高いので代用品として合成皮革の開発が進んだ。合成皮革の普及は、「皮革を得る目的のためだけに動物の命を奪う」ことの減少につながった。しかしその一方で、合成皮革は安価に作ることもできるため、使い捨てになりやすく、ごみ問題が課題となっている。そこで、限られた天然皮革を大事に使う方が環境保全には良いという考え方もある。いずれにしてもどちらにも長所と短所があるというところだ。

私は現在使っている靴を3年で買い替えることは問題ないと思っていた。しかし、この新聞記事を読んで友人の靴を思い出し、製品を購入する際は、製品がつくられる過程や、買った後のことまで慮ることは大切だと考えるようになった。自身の消費行動が、誰かの人生や動物の命に関わっていることを常に意識することは将来の環境保護につながる。そしてそれは最終的には自分自身を守ることに直結していると考ええる。真の豊かさを享受するため、倫理性や持続可能性を見極めて行動していきたい。（総文字数799文字、800マス）

出題意図

【出題全般】

食を通して健全な心と身体を培い、豊かな人間形成を育むことに関する課題文について、食の専門を志す受験生の「知識・技能」、「思考力・表現力」を問う。（選抜方法と学力の 3 要素より）

これまでの学校教育において、文部科学省が定める「学校給食を中心とした食に関する指導」を受けてきた受験生には、本課題文に対する理解は十分可能であると判断する。かつ、本課題文に対する理解は本専攻を志す上で、必要な資質である。

問 1.

提示された課題文およびグラフを適切に理解し、文章で簡潔にまとめられる「知識」と「思考力」を評価する。（知識、思考力）

問 2.

提示された課題文について、これまでの自身の体験と結びつけ、自分の考えを示す技能および思考力を評価する。さらに、誤字、脱字等に留意し、丁寧にわかりやすく伝えられる表現力を評価する。（知識・技能、思考力・表現力）

採点基準

【採点基準】

問 1.

①現状と目標の値の差に着目し、文章で的確に表現されているか。

※文章内に数値が組み込まれている、目標値との比較がされている

②字数制限を守っているか。

③誤字脱字がないか。

問 2.

①論述に、「自身の経験」を交えているか。

②自分の考えが明確に表現されているか。

③540 字（9 割）以上～600 字以内で書かれているか

④誤字脱字がないか。

【 解 答 例 】

問 1

「食文化を伝えている」と回答した割合は全世代で 44.7 %、若い世代で 26.0 %と、いずれも目標とする 55 % 以上を下回っており、特に若い世代では目標値の半分程度と低い割合であった。(82 字)

問 2

伝統料理や郷土料理を受け継ぎつぎ伝えていくことはとても重要なことだと考える。私が受け継いでいきたい料理は「お雑煮」である。これは伝統料理かつ地域の特色が出る郷土料理でもあると思う。我が家のお雑煮は醤油ベースで、大根やにんじん、鶏肉が入る。お餅は小さめのものを焼いて入れる。これが普通だと思っていたが、以前京都に旅行に行ったとき、白く濁った汁に丸いお餅が入ったお椀があり、「何だろう」と思っていたら、「お雑煮ですよ」という説明を聞き、驚いた。調べてみて、全国にはいろいろなお雑煮があると知った。私の家でも、祖父母はすったクルミを入れて食べている。この食べ方は私は少し苦手だが、地域に伝わる食べ方のひとつだと聞いた。この伝統を受け継ぐために、私も祖母や母に作り方を教えてもらっている。完成したものを写真でとって記録したり、レシピをまとめておけば、自分の子供の世代にも伝えていくことができると思う。和食はユネスコの世界文化遺産に登録されたほど、伝統を持つ文化である。食文化を受け継ぐことが大切だと考える割合が若い世代では 40 % で、これでは少ないと思う。学校の給食や調理実習で郷土料理を積極的に取り入れることで、次の世代に料理の味や印象を残しながら引き継ぐことが可能になるだろう。自分自身が大切に思う郷土料理を守りながら、地域や身の回りの料理にも興味を広げ、伝統を引き継いでいくことが必要だと私は考える。

(597 文字)